



さいたま市議会議員（1期目）
新人の目、市民の視線を大切に！

佐伯かずみ

市議会レポート（活動報告）NO.11



元気なチームさいたま市を目指します！

性別・年齢・国籍・障がいの有無にかかわらず、多様性を大事にし、誰もが参画できるまち、顔が見え、声のかけ合うことができるコミュニティづくりを目指します。

さいたま市令和2年度予算は

一般会計 5,627 億円（前年比+59 億円）

特別会計・企業会計と合わせ全会計で 1 兆 58 億円

2月議会が2月4日から始まりました(3月19日まで)。議会後半には、3週間におよぶ予算案の審議があります。佐伯かずみは予算委員ですのでしっかり審議してまいります。今回の予算は2021年の先の「新たなさいたま市の創造」に向けたさらなる成長・発展につながる事業について予算を重点配分しています。

その特徴をみていきましょう。

【重点1】東京2020大会に向けた事業 689,000,000 円

東京2020大会ではさいたま市でサッカーやバスケットボールの試合が行われます。それを好機ととらえ、さまざまなイベントや事業を行う予定です。例えば盆栽の魅力を発信するイベント、回遊バスの運行や大型スクリーンで試合観戦ができるパブリックビューイングの設置、氷川参道や山丸公園でおもてなしイベントを開催。

【重点2】防災・減災対策事業 4,225,913,000 円

令和元年台風第19号による災害を教訓として防災・減災対策を一層強化する予算をつけます。令和元年度12月補正予算から16か月の切れ目のない予算として編成します。特に災害時防災無線が聞こえなかった方には、災害時防災情報電話サービスが導入されます。電話やFAXで情報が受け取れるようになります(9月以降導入予定)。公式HPが災害時等にきちんとアクセスできる環境の強化、浸水想定区域の見直しをした新しいハザードマップの作成や防災ガイドブックの全戸配布、台風第19号の教訓を踏まえた地域防災計画の改定などを予定しています。

【重点3】「スマートシティ」の取組 348,426,000 円

Society5.0 の時代に対応し、最新のテクノロジーを活用し、美園地区を中心とした取り組みを推進します。省エネ、創エネ設備、平時の低炭素化の住宅の開発、低炭素型の1~2人乗りのモビリティ(車)、平時・災害時にエネルギーを供給できるステーションの整備などをします。

※Society5.0とは、ビッグデータや人口知能を活用した科学技術政策。人間の社会構造において、狩猟・農耕・工業・情報に続く5番目の変革と位置づけている。

新規事業・拡大事業として、こんな事業等もあります。

- ① 福祉の複合化した課題を抱える市民の方々に、「(仮称)福祉丸ごと相談センター」を創設。
- ② 出産後間もない時期の産婦等に対する支援の強化のため、訪問型に加え、宿泊型・デイサービス型産後ケア事業の創設。
- ③ アクティブラーニングの視点から中学校21校、小学校35校にタブレット型コンピューターを整備。
- ④ 学校トイレの洋式化を計画より前倒しで進める。
- ⑤ 安全で楽しく遊べる公園づくりに向けて、公園遊具の修繕や更新等の対策を実施。など

佐伯かずみ 4月4日に市政報告会を開催！！

当選してから1周年



期日：2020.4.4（土）
時間：午後 2:00~4:30
場所：市民会館おおみや
会費：300 円（軽食代）



選挙から今までの活動を含め、みなさんに報告いたします。初めての方、ちょっと興味のある方、駅でみかけてくださった方も大歓迎！みんなでわいわいおしゃべりしましょう。申し込みは左のQRコードからLINEラインで。あなたの声もここからお聞かせくださいね。

佐伯かずみプロフィール（詳細はHP〔佐伯かずみで検索〕をご覧ください）
1959年東京都大田区蒲田の商店街生まれ。息子(芝川小・第2東中卒業)二人。防災士。

【朝駅頭のお知らせ】

朝 7 時~8 時半まで。大宮区 7 か所日替わり。日程の詳細は「佐伯かずみ」で HP 検索してください。ただし雨の日は中止、議会中やイベントがある場合は順延します。

大宮駅西口ルミネ前	大宮駅西口デッキ上
大宮駅東口トトちゃん前	大宮駅西口ローソン前
新都心駅	大宮公園駅
大宮駅東口交番前	

佐伯 かずみ



で検索

